

ヨハネによる福音書 1:1

Ἐν ἀρχῇ ἦν ὁ λόγος, καὶ ὁ λόγος ἦν πρὸς τὸν θεόν, καὶ θεὸς ἦν ὁ λόγος.

In the beginning was the Word, and the Word was with God, and the Word was God.

John 1:1

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

ヨハネによる福音書 1:1

はじめに

1. 初めに言があった。：
2. 言は神と共にあった。：
3. 言は神であった。：

創世記 1:1

本文の理解

1. 初めに

Ἐν ἀρχῇ (In the beginning)

Ἐν

In、～に、～において。

ἀρχῇ (archē)

初め、起源、第一原因

アリウス派

エホバの証人

御子イエス・キリストは永遠の存在であり、被造物ではありません。

適用

信じる者はキリストを完全に信頼することができます。

ヘブル人への手紙 13:8

2. あった

ἦν (ēn)

未完了過去形 (imperfect)

未完了過去形 (Imperfect) とは

ヨハネによる福音書 1:3

ἐγένετο (Aorist、できた、～が生じた、なった)

未完了過去形 (Imperfect) : 継続的な存在

ミカ書 5:2

適用

私たちの救い主は、一時的な存在ではありません。

あなたは、どのような約束が与えられていますか？

3. 言

λόγος

言葉、メッセージ、演説（語りかけ）、理性、啓示

キリストの称号

1) 旧約聖書の背景

詩篇 33:6

エレミヤ書 1:4

イザヤ書 55:11

2) ユダヤ的背景

3) ギリシア的背景

λόγος

人格 (Person)

肉体 (ヨハネによる福音書 1:14)

キリスト論的意義

イエス様は神様の究極の啓示である。

¹ 神は、むかしは、預言者たちにより、いろいろな時に、いろいろな方法で、先祖たちに語られたが、² この終りの時には、御子によって、わたしたちに語られたのである。神は御子を万物の相続者と定め、また、御子によって、もろもろの世界を造られた。³ 御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の真の姿であって、その力ある言葉をもって万物を保っておられる。そして罪のきよめのわざをなし終えてから、いと高き所にいます大能者の右に、座につかれたのである。
ヘブル人への手紙 1:1-3

適用

「イエス様を見なさい」

私たちもキリストに似たような者に成長していく。

信じる者としてイエス様に似たような者に成長していきましょう。